

**製品名: PACAP ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab15685**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000
分子量	

**抗原情報**

遺伝子名	PACAP HSPC190
別名	Plasma cell-induced resident endoplasmic reticulum protein (Plasma cell-induced resident ER protein; pERp1; Proapoptotic caspase adapter protein)
遺伝子 ID	51237.0
SwissProt ID	Q8WU39
免疫原	AA 範囲: 1-50 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

**背景**

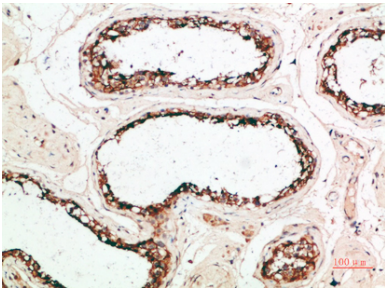
機能: アポトーシスの調節に関与している可能性があります。誘導: リガンド刺激による活性化後の初期に初代 B 細胞でダウンレギュ

レーションされます。、細胞内局在:(PubMed:11350957) 核周囲の細胞質内にびまん性顆粒状に局在します。、サブユニット:アイソフォーム2は、CASP2 および CASP9 と相互作用します。、組織特異性:成人の脳で最も高く広く発現しています。腸型胃がんでは発現が低いことがよくあります。、機能:アポトーシスの調節に関与している可能性があります。、誘導:リガンド刺激による活性化後の初期に初代B細胞でダウンレギュレーションされます。、細胞内局在:(PubMed:11350957) 核周囲の細胞質内にびまん性顆粒状に局在します。、サブユニット:アイソフォーム2は、CASP2 および CASP9 と相互作用します。、組織特異性:成人の脳で最も高く広く発現しています。腸型胃癌では発現が低いことが多い。

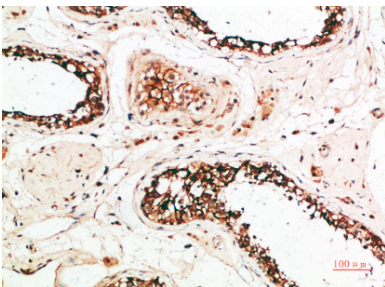
## 研究分野

関連タンパク質; 細胞生物学; アポトーシス; 細胞内; カスパーゼ等; カスパーゼ

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト精巣の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト精巣の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された